



▲中学校での講演会のようす

性感染症の
恐ろしさを学ぶ

**タップリほめる。
シツカリしかる。**

いいってっネ
夢づくり構想

教育のページ

1/25

飯館中学校で中学3年生及び一般参加者約90人を対象に、助産師の宗形初枝先生による「生と性の教育講座―いのちを守り育てる生と性―」の講演会が行われました。

講座では、先生が医療現場での体験に基づき、最近の性の現状について講話しました。内容は、10代・20代に性感染率が高いことや、男性よりも女性の方が感染しやすいこと、母体から赤ちゃんにも性感染することなどで、授業では聞くことのできない医療現場での生々しい体験談に多くの中学生が共鳴し、「改めて命の大切さや家族の大切さ、性感染症の恐ろしさが分った」と感想を話していました。

**「あいさつ運動」、
「先輩お父さんに聞く」
申し合わせを決める**

12/23

八木沢・荻原

1/14

関沢

地区の子ども会育成会主催による子育て座談会が行われ、「しつけの悩み」などについて、活発に



▲子育ての悩みなどについて意見を交わした座談会（写真は関沢）

意見を交わしました。

参加した父親からは「子どもの叱り方やしつけ方が難しい」という悩みが多く出され、それに対して先輩お父さんがアドバイスをするなど、終始和やかな雰囲気での座談会となりました。

最後に、育成会として「地区の子どもにあいさつをする」、「親同士もあいさつをする」、「お年寄りが集まるときには、育成会も参加して地域の人と交流を持つ」、「困ったことがあったら先輩お父さんに聞く」との申し合わせを決めました。

初めての試みでしたが、参加した人たちは「子育てに対して真面目に話し合う機会が得られ、大変有意義だった」と感想を話していました。

子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

いじめの問題 その2

いじめをするところは孤立恐怖です。人は誰でもさびしさにさいなまれると、群れをつくり快感を覚える行為に走ります。

社会にこれだけいじめがはびこるのは世の親たちがわが子にかかわる時間の絶対量が少ないのと、「いじめをしてはいけない」という道徳を教えていないからなのです。

本来、子どもに道徳を教えるのは父親の役割でした。それが、父親力が弱体化して道徳を正しく教えていないので、いじめをする子どもたちが増えているのです。

「良いことをして、悪いことをしない」。これは、お釈迦様が人間の最高の道徳として説く言葉です。「タップリほめる。シツカリしかる。」という飯館村の運動は、まさしくお釈迦様の教えに即応しています。

飯館村のお父様方、これからもわが子とたくさんかかわり、「タップリほめる。シツカリしかる。」ことを続けましょう。必ず、わが子が頼もしい人間に育ちます。

飯館中学校および相農飯館分校
スクールカウンセラー

海野 和夫